



# 平成 24 年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 10 月 13 日

上場会社名 株式会社スリーエフ 上場取引所 東  
 コード番号 7544 URL <http://www.three-f.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中居勝利  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務室長兼総務室長 (氏名) 海老沢克恭 TEL 045-651-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 10 月 14 日 配当支払開始予定日 平成 23 年 11 月 1 日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 24 年 2 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 2 月期第 2 四半期	14,329	2.9	883	57.1	906	47.5	△51	—
23 年 2 月期第 2 四半期	13,920	0.8	562	40.1	614	39.1	371	485.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 2 四半期	△6.81	—
23 年 2 月期第 2 四半期	49.04	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 2 四半期	18,741	5,984	31.1	770.65
23 年 2 月期	16,554	6,087	35.9	784.13

(参考) 自己資本 24 年 2 月期第 2 四半期 5,837 百万円 23 年 2 月期 5,939 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	—	6.00	—	7.00	13.00
24 年 2 月期	—	6.00	—	—	—
24 年 2 月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成 24 年 2 月期の連結業績予想 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	26,500	△1.8	1,000	76.5	1,050	56.8	△50	—	△6.60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (平成 23 年 10 月 13 日) 公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年2月期2Q	7,707,095株	23年2月期	7,707,095株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年2月期2Q	132,082株	23年2月期	132,082株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年2月期2Q	7,575,013株	23年2月期2Q	7,575,078株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、平成23年10月6日付にて、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※当社は、以下のとおりアナリスト向け説明会を開催する予定です。

・平成23年10月14日（金）・・・・・・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災により企業の多くの製造拠点が被災し、電力供給不足も重なり、生産活動の著しい低下を招きました。また、消費者の購買行動にも大きな変化を与え、雇用情勢の悪化懸念やデフレ傾向の長期化などもあり、一段と厳しい状況となりました。

コンビニエンスストア業界におきましては、夏季は気温が安定せず、全国的に降水量も多い状況でしたが、前年10月のたばこの値上げに伴う影響や、東日本大震災後における地域社会のライフラインとしての需要の拡大もあり、総じて堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社グループはクリーンネス・フレンドリーサービス・身だしなみといった商売の基本の徹底を通じて、気持ちよくお買い物していただけるお店作りに努め、来店客数の持続的な向上を目指してまいりました。また、中食需要の高まりや、曜日や時間帯ごとのニーズ変化に対応した商品の充実に向けて、カウンター商材であるフランカー商品や惣菜、軽食のカテゴリーの品揃え強化を図ったことなどが奏功し、既存店の売上高は前年同期比104.4%となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業総収入は前年同期比2.9%増の143億29百万円となり、営業利益は前年同期比57.1%増の8億83百万円、経常利益は前年同期比47.5%増の9億6百万円となりました。また、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額6億88百万円を含め特別損失9億64百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は51百万円となりました。

店舗開発につきましては、独立研修社員の育成とドミナント出店の強化を図り、既存店防衛力の向上を継続して取り組んでまいりました。また、出店基準に基づく厳格な物件精査を行った結果、新規開店した店舗の売上は好調に推移しました。店舗数につきましては、開店9店、閉店6店となり、総店舗数637店(エリア・フランチャイズ契約に基づく四国地区は72店、スリーエフ店合計709店)となっております。

店舗運営につきましては、店舗スタッフの教育プログラムである「スターブループログラム」を活用した店内体制の構築により質の高い店作りを図ったほか、店舗指導員のレベル向上による個店指導力の強化を目指してまいりました。

商品面につきましては、たばこの売上増が大きく影響しておりますが、カウンター販売しているフランカー商品の焼き鳥やパスタ、惣菜、デザートといった需要の拡大が見込まれるオリジナル商品の強化を図るとともに、各種販促施策などに取り組んでまいりました。

また、東日本大震災復興支援として「つなごう まごころ 未来へ!」をテーマとした各種の支援金付商品や、Tポイント利用およびSuicaポイント付与の一部を支援金としてお届けするなど、継続して取り組んだ様々な企画に対して、多くの皆様よりあたたかいご支援を賜りました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は21億87百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、加盟店貸勘定、無形固定資産の減少等によるものであります。

負債につきましては、22億90百万円の増加となりました。これは主に買掛金、預り金、資産除去債務の増加、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少等によるものであります。

純資産につきましては、1億3百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

### ②連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が49百万円となりましたが、加盟店貸勘定の減少、仕入債務及び収納代行預り金の増加等の要因により、31億26百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産、保証金・敷金の取得による支出等により、2億73百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済等により、5億54百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ22億98百万円増加し、30億59百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期(平成23年3月1日～平成24年2月29日)の通期連結業績予想につきましては、平成23年4月7日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成23年10月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ20百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は746百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は910百万円であります。

#### ②連結財務諸表に関する会計基準の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,361	1,062
加盟店貸勘定	862	1,029
商品	388	378
貯蔵品	7	6
未収入金	834	753
その他	799	1,017
貸倒引当金	△7	△16
流動資産合計	6,245	4,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,334	2,359
リース資産(純額)	836	761
その他(純額)	879	880
有形固定資産合計	4,050	4,001
無形固定資産		
のれん	11	15
ソフトウェア	887	1,049
その他	60	60
無形固定資産合計	959	1,126
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,889	6,929
その他	618	287
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,486	7,194
固定資産合計	12,495	12,322
資産合計	18,741	16,554

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,495	4,613
加盟店借勘定	58	20
短期借入金	—	199
1年内返済予定の長期借入金	—	210
リース債務	201	162
未払金	1,066	1,056
未払法人税等	414	111
預り金	2,686	2,308
賞与引当金	354	316
その他	52	44
流動負債合計	10,330	9,044
固定負債		
リース債務	695	611
役員退職慰労引当金	23	23
資産除去債務	924	—
長期預り保証金	777	778
その他	5	8
固定負債合計	2,427	1,422
負債合計	12,757	10,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,396	1,396
資本剰余金	1,645	1,645
利益剰余金	2,876	2,980
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,831	5,936
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	3
評価・換算差額等合計	6	3
少数株主持分	146	148
純資産合計	5,984	6,087
負債純資産合計	18,741	16,554

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	6,046	6,261
その他の営業収入	1,195	1,954
営業収入合計	7,241	8,216
売上高		
売上高	6,678	6,113
営業総収入合計	13,920	14,329
売上原価	4,897	4,520
営業総利益	9,022	9,809
販売費及び一般管理費	8,460	8,926
営業利益	562	883
営業外収益		
受取利息	38	42
受取配当金	0	0
解約精算金	28	3
その他	1	1
営業外収益合計	69	47
営業外費用		
支払利息	14	11
減価償却費	2	1
寄付金	—	11
その他	0	0
営業外費用合計	16	24
経常利益	614	906
特別利益		
受取補償金	204	—
賃貸借契約解約損修正益	86	—
貸倒引当金戻入額	—	9
その他	5	—
特別利益合計	296	9
特別損失		
固定資産除却損	72	39
リース解約損	0	0
賃貸借契約解約損	44	35
減損損失	151	193
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	688
その他	7	7
特別損失合計	275	964
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	635	△49
法人税、住民税及び事業税	109	386
法人税等調整額	152	△384
法人税等合計	262	2
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△51
少数株主利益	1	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	371	△51

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	635	△49
減価償却費	481	509
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	688
減損損失	151	193
差入保証金償却額	2	3
のれん償却額	3	3
固定資産除却損	72	39
リース解約損	0	0
賃貸借契約解約損修正益	△86	—
賃貸借契約解約損	44	35
受取補償金	△204	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△9
受取利息及び受取配当金	△39	△42
支払利息	14	11
加盟店貸勘定の増減額(△は増加)	526	166
未収入金の増減額(△は増加)	△411	△78
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17	△10
前払費用の増減額(△は増加)	10	25
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△137	243
仕入債務の増減額(△は減少)	871	881
未払金の増減額(△は減少)	248	141
預り金の増減額(△は減少)	△326	389
未払消費税等の増減額(△は減少)	102	9
その他の流動負債の増減額(△は減少)	194	84
その他	△5	5
小計	2,106	3,242
利息及び配当金の受取額	39	42
利息の支払額	△14	△11
補償金の受取額	204	—
法人税等の支払額	△16	△147
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,319</b>	<b>3,126</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△86	△166
敷金及び保証金の差入による支出	△143	△173
敷金及び保証金の回収による収入	280	202
無形固定資産の取得による支出	△139	△66
その他	△122	△69
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△210</b>	<b>△273</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,120	△199
長期借入金の返済による支出	△260	△210
リース債務の返済による支出	△57	△89
配当金の支払額	△45	△53
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,485	△554
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	623	2,298
現金及び現金同等物の期首残高	1,617	760
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,240	3,059

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。